

令和4年度市政モニター  
「ぎふCITYウォッチャーズ」  
第3回調査結果

テーマ

岐阜市の動物愛護事業に関する調査及び  
ぎふベジに関する意識調査

## 目次

- 1 調査目的
- 2 調査期間
- 3 調査項目
- 4 回答者属性
- 5 結果の概要
- 6 項目別の結果
- 7 今後に向けて

### お問い合わせ先

- (1) 岐阜市の動物愛護事業に関する調査（問1～問9）

保健衛生部 生活衛生課 TEL：058-252-7195／MAIL：s-eisei@city.gifu.gifu.jp

- (2) ぎふベジに関する意識調査（問1～問17）

経済部 農林課 TEL：058-214-2079／MAIL：nourin@city.gifu.gifu.jp

## 1 調査目的

- (1) 岐阜市の動物愛護事業に関する調査

- ① 動物に関する問題や本市が行う動物愛護管理事業に対する考え方などの調査を実施。
- ② ①の結果を参考に、動物愛護管理に関する取り組みの推進や改善を図る。

- (2) ぎふベジに関する意識調査

- ① 安全・安心にこだわって生産された「ぎふベジ」や地産地消に対する意見などの調査を実施。
- ② ①の結果を参考に、ぎふベジのブランド化や地産地消を推進する取り組みの参考とする。

## 2 調査期間

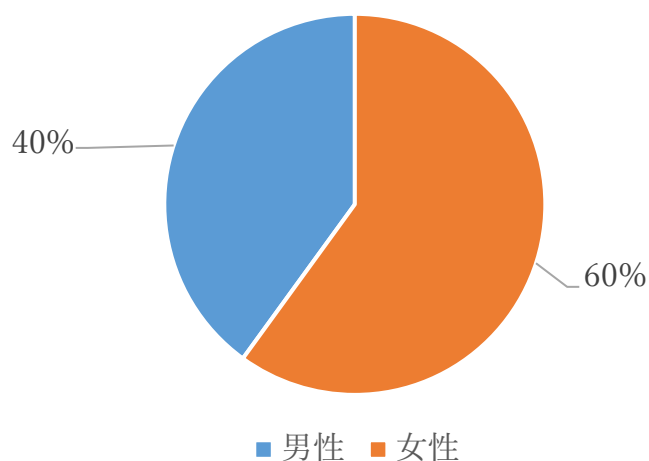
令和4年10月24日(月)～11月7日(月)

## 3 調査項目

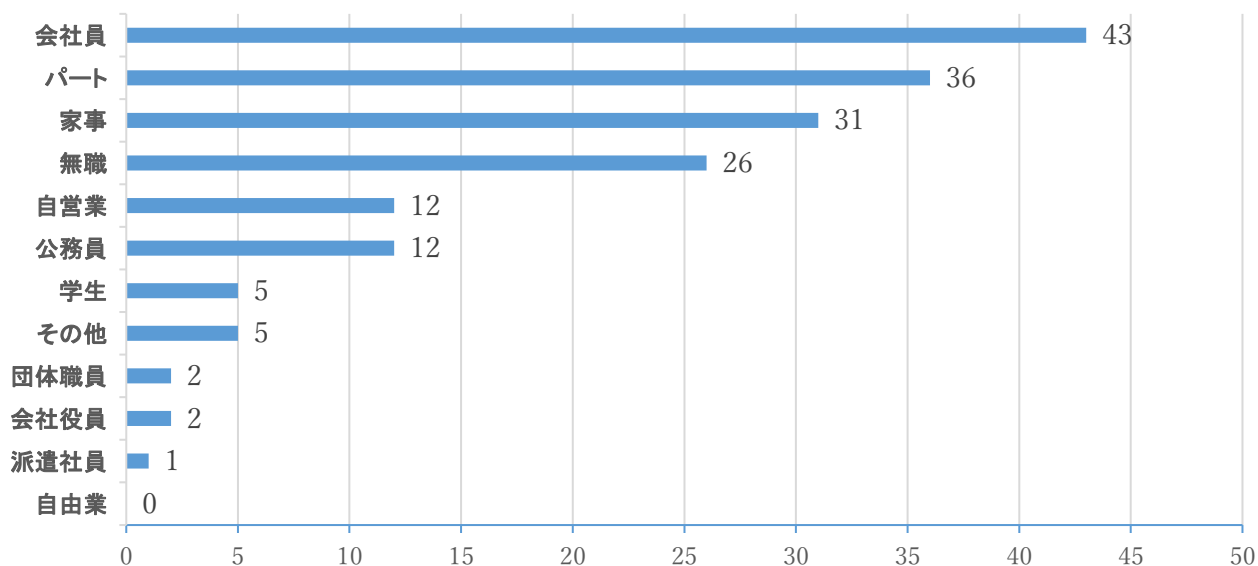
- (1) 岐阜市の動物愛護事業に関する調査(問1～問9)
- (2) ぎふベジに関する意識調査(問1～問17)

#### 4 回答者属性

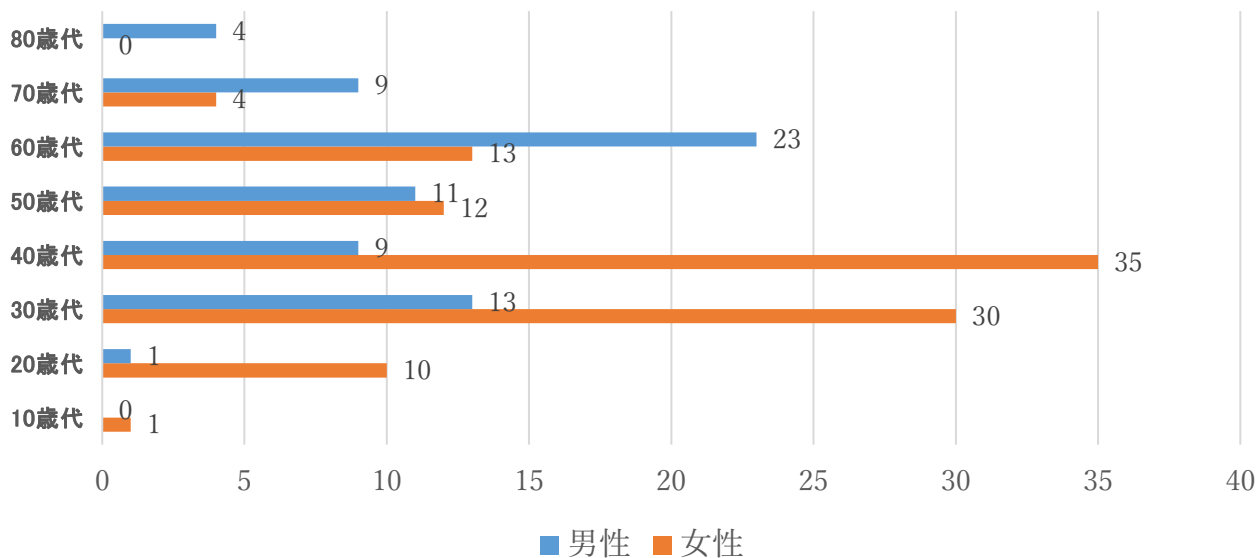
令和4年度市政モニター第3回回答者 性別別割合 n=175



令和4年度市政モニター第3回回答者 職業別割合 n=175



令和4年度市政モニター第3回回答者 年代別割合 n=175



## 5 結果の概要

### (1) 岐阜市の動物愛護事業に関する調査

多くのご回答をいただき、ありがとうございました。

動物を飼ったことがある人は全体4分の3程度で、そのうち「保健所や動物愛護センター」から入手した動物の割合は10%と一定数ある一方、市の犬猫収容施設「岐阜市畜犬管理センター」の認知度は21%と高くないことが分かりました。

動物に関する問題等に対する意識への、動物飼育経験の有無による違いについては、動物のことで自身や周囲が困っていることが「特にない」という回答者の割合は飼育経験ありで18.5%、なしで24.4%と大きな差はない一方、動物愛護に関する社会問題への関心が「特にない」という回答者の割合は、飼育経験ありで3.8%、なしで22.2%と比較的差があることが分かりました。

市として充実してほしい動物愛護事業は、犬猫の殺処分数削減につながる引取り数の減少や譲渡促進の取組みが47%、45%と上位を占め、ついで、猫のフン尿被害対策39%や飼い主のいない猫を減らす取組み38%と生活環境の改善につながる取組みが回答として得られました。一方で、普段の生活と関連性の低い「広報やHP、ラジオ等による情報発信による動物愛護の普及啓発」は9%と低い回答数が得られました。

犬猫収容施設の機能・設備で、過半数が「必要」と考える項目は、「収容された犬猫を譲渡可能にするための治療や検査を行う設備」「譲渡対象の犬猫の情報を発信する機能」「飼い主自身が新しい飼い主を探すための機能」のほか、最も割合の高かったものは「子ども達にいのちの大切さを伝える教育の場」でした。

動物に関する地域の問題、動物を飼うことのメリット等、多方向からの意見がアンケートに寄せされたことを踏まえ、人と動物が共生できる社会を目指し、動物愛護管理に関する事業を推進していく必要があると考えています。

### (2) ぎふベジに関する意識調査

今回の調査において、お答えいただきましたモニターの皆様に感謝申し上げます。

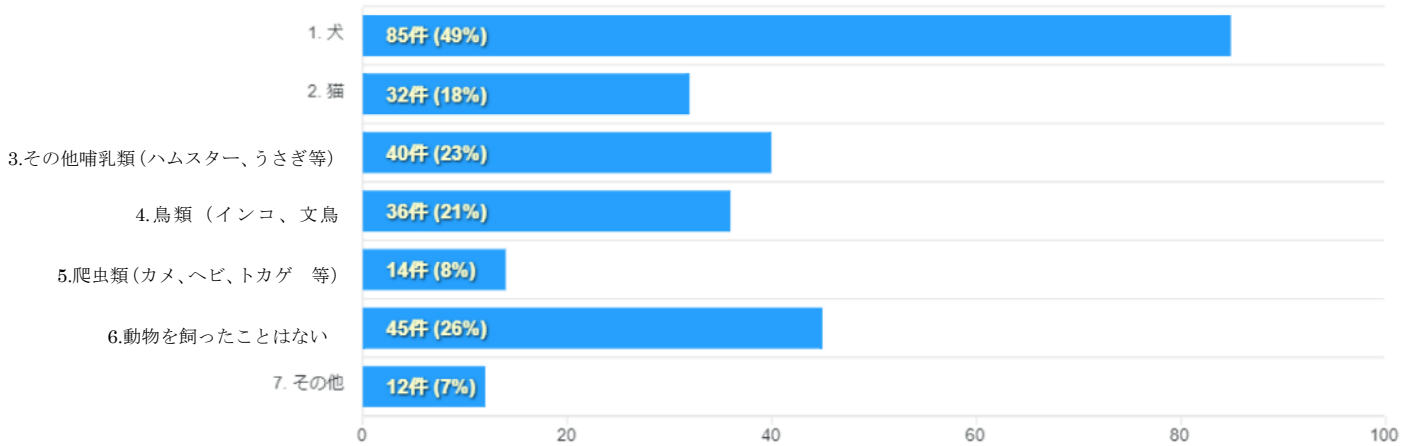
「ぎふベジ」に関する調査は昨年度も実施させていただきましたが、本市における「いちご」「えだまめ」「柿」といった特産農産物の認知度は高く、同時に、市外に売り込むべき地元の誇れるものとして位置付けられていることが分かりました。

「ぎふベジ」の認知度については37%と、昨年度の38%と横ばいで、更なる認知度向上の取組の必要性を感じております。また、ぎふベジエリアの拡大についても、認知度は18%と、昨年度の19%と横ばいであり、依然として低い状況でした。ぎふ地産地消推進の店「ぎふ〜ど」の取組みについても、昨年度同様27%と認知度は低いです。本市が取り組む特産農産物のブランド化や地産地消の推進は、一定の効果が出てきてはいるものの道半ばであり、これまでのマーケティング戦略を踏まえた効果的な施策展開が必要であると改めて認識しました。

## 6 項目別の結果

(1) 岐阜市の動物愛護事業に関する調査（問1～問9）

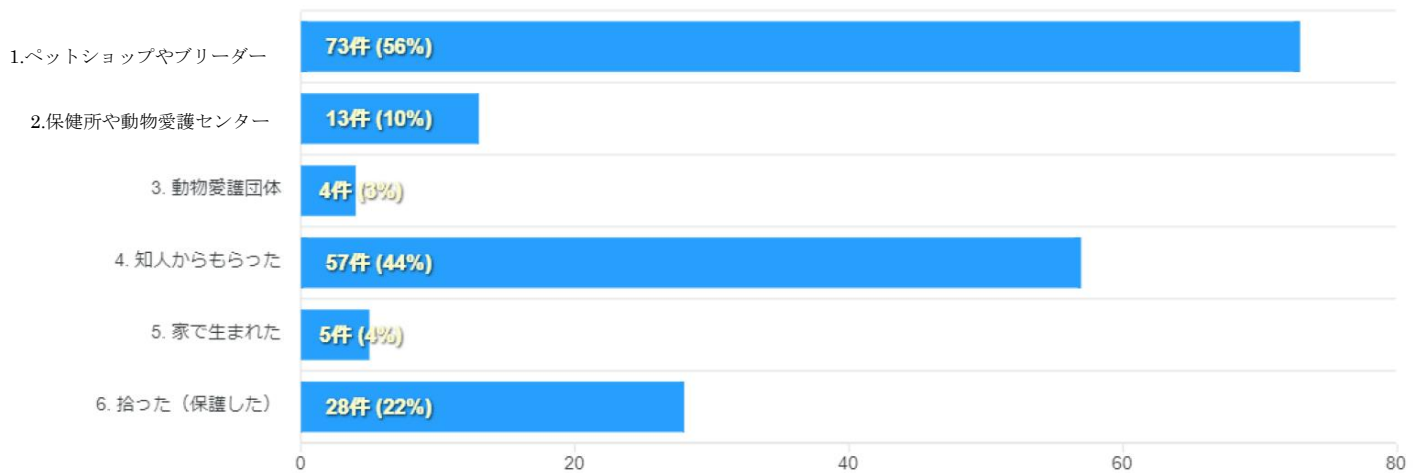
質問1.あなたは、今、または以前に、動物を飼っていたことがありますか。



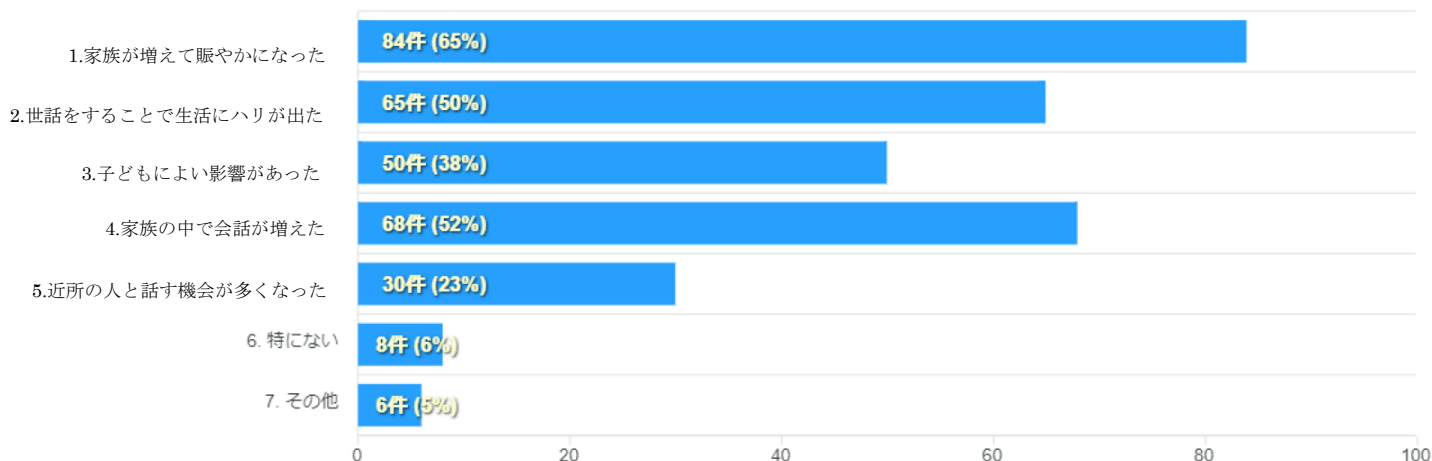
その他（一部抜粋）

- 金魚・めだか
- カニ
- 虫

質問2.飼っている（飼っていた）動物はどこで入手しましたか。



質問3.動物を飼っていて、よかったことは何ですか。すべてお選びください。

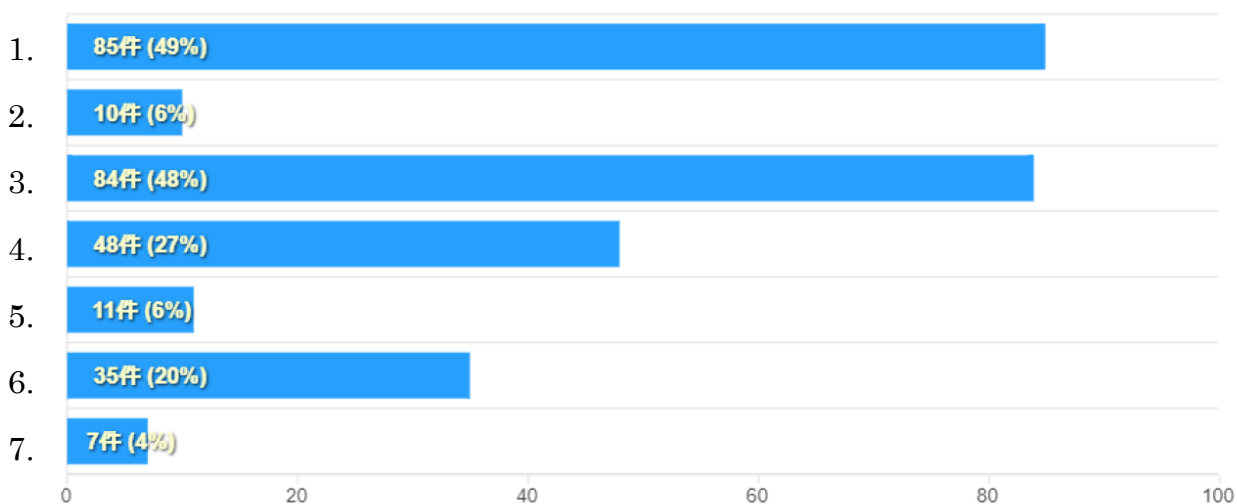


その他 (一部抜粋)

- 精神的に癒された。
- 嫌なことがあった日でも癒されて救われました。
- 認知症の母の介護中、ペットの存在のおかげで母も家族も癒されて16年間を乗り越えることができました。
- 朝晩の散歩は運動不足解消になった。
- 飼った動物の生態が分かった。
- 子供が独立し家を出たが引き続き、愛情を注ぐ対象が出来た。

質問4.動物(畜産動物・野生動物を除く)のことで、あなたや周りの人が困っていることはありますか。すべてお選びください。

1. 散歩中の犬のフン尿の放置。
2. 放し飼いの犬がいる。
3. 猫が敷地内でフン尿をしたり、花壇を荒らしたりする。
4. 近所で飼い主のいない猫が増えている。
5. 動物を飼っている家からの悪臭や騒音。
6. 特にな
7. その他。

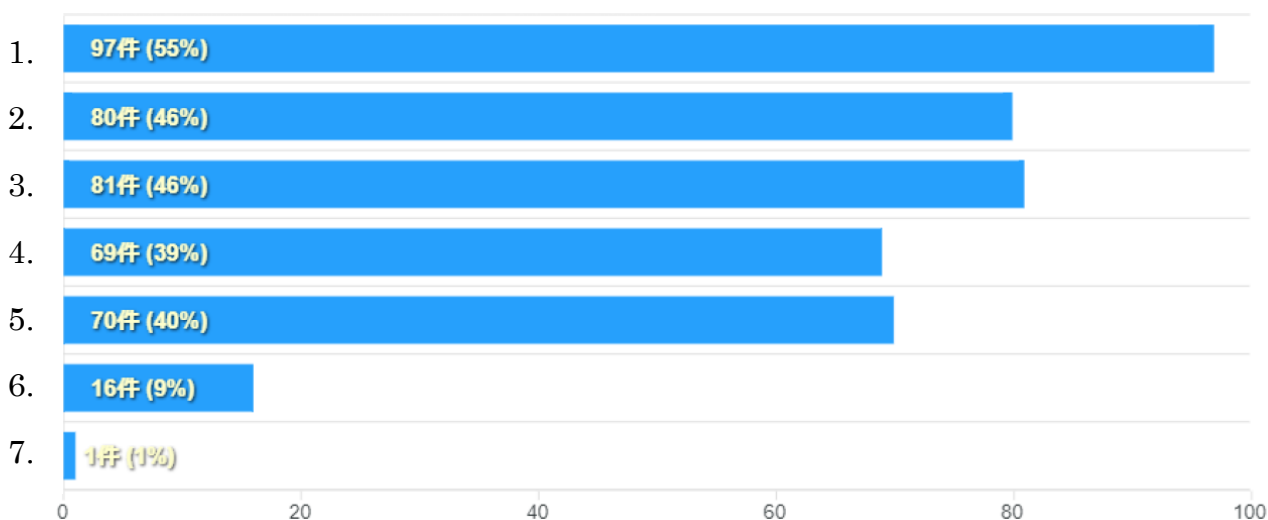


### その他 (一部抜粋)

- 飼い猫として飼わず餌を与え続ける人がいて、公園の砂場等で猫がフンをしている。
- 飼い猫なのか餌やりだけなのか、1軒で5匹ほどの野放しな猫のフンに、多くの近隣世帯が困っている。
- 散歩中の小型犬が足元にくるときがある。
- 飼い犬の近くを通ると突然吠えられたり、襲い掛かろうとされて恐怖を感じる。
- 犬を散歩していると排泄物を放置するのではないかと睨まれたり、去るまで見張られたり、少なからず嫌な思いはした事があります。

質問 5. 動物愛護に関する社会問題について関心のあるものを3つまでお選びください。

1. 動物の虐待や遺棄。
2. 悪質な業者 (ブリーダー、ペットショップ) による販売。
3. 多頭飼育崩壊 (飼っているペットの数が多くなりすぎて十分な世話ができなくなる事)。
4. 飼い主のいない猫問題に対する取組 (地域猫活動など)。
5. 犬や猫の殺処分。
6. 特にない。
7. その他。



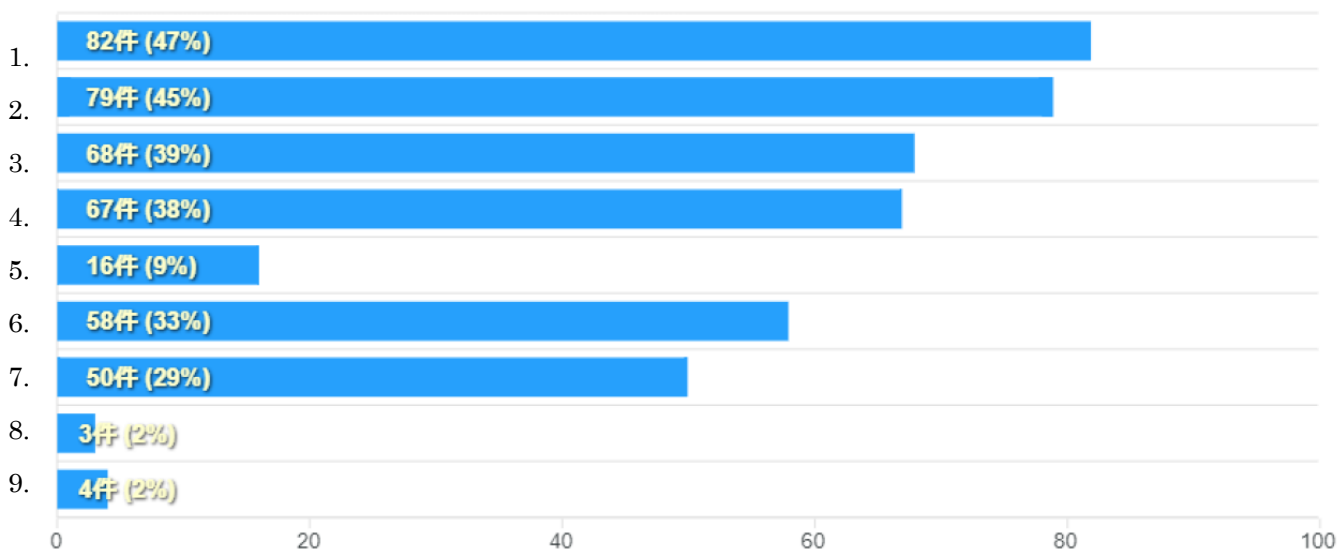
### その他 (一部抜粋)

- 公共の無料ドッグランの新規設置について

◆市（保健所）の動物愛護事業に関する質問です。

質問6. 市が行う動物愛護事業で充実させてほしいと思うものを3つまでお選びください。

1. 保健所に引取りを求められる犬や猫を減らす取組み（最後まで飼うという飼い主の責任意識の向上等の啓発）
2. 犬や猫の新しい飼い主への譲渡促進。
3. 猫によるフン尿被害等を減らす取組み（猫侵入防止装置の貸出し事業等）。
4. 飼い主のいない猫を減らす取組み（飼い主不明な猫不妊手術費補助金交付事業等）。
5. 広報やHP、ラジオ等による情報発信による動物愛護の普及啓発。
6. 犬猫等ペットの正しい飼い方や飼い主のマナーの普及啓発（愛犬のしつけ方教室や出前講座等）。
7. ペットショップやブリーダー等の動物取扱業者への指導。
8. 特にない。
9. その他。



その他（一部抜粋）

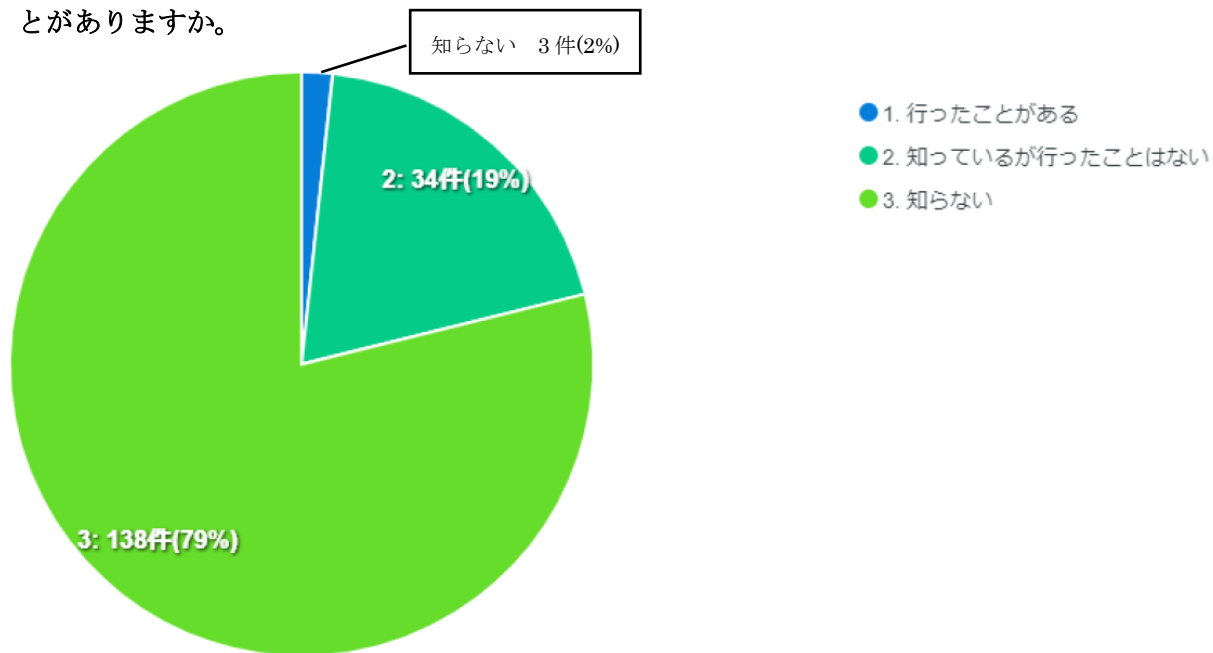
■有事（災害）が発生した場合の動物保護並びに、同行避難に対する岐阜市の考え方を市民に伝え、非常時の対応方法について情報宣伝する。

■公共の場におけるドッグラン設置



◆市（保健所）の犬猫収容施設に関する質問です。

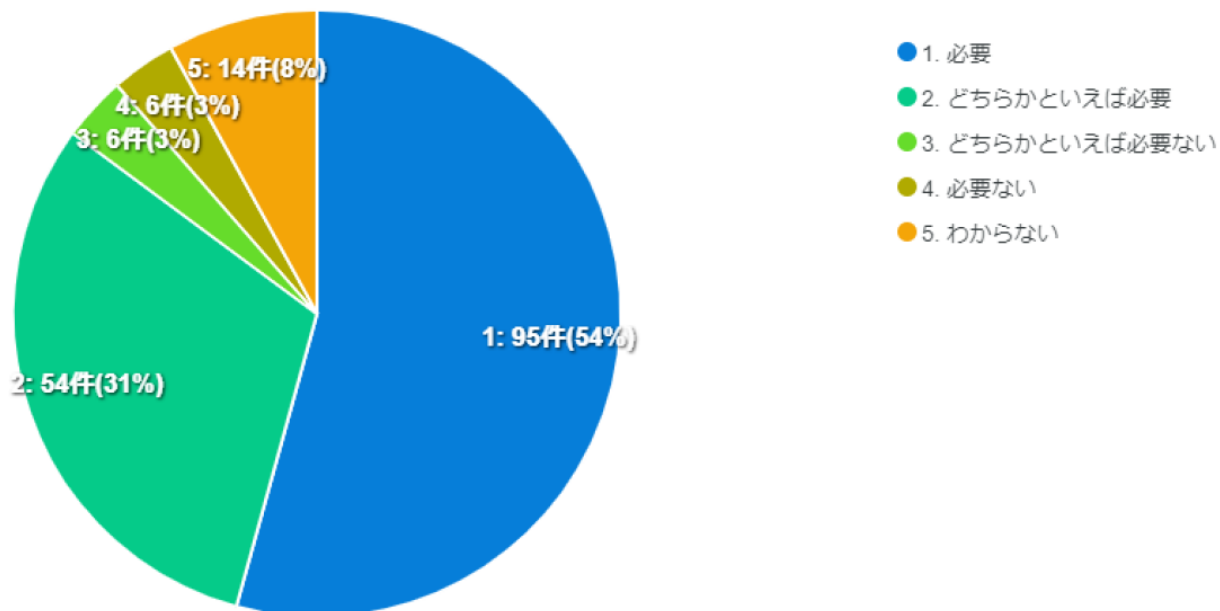
質問7. 市の犬猫収容施設である「岐阜市畜犬管理センター」を知っていますか。また、行ったことがありますか。



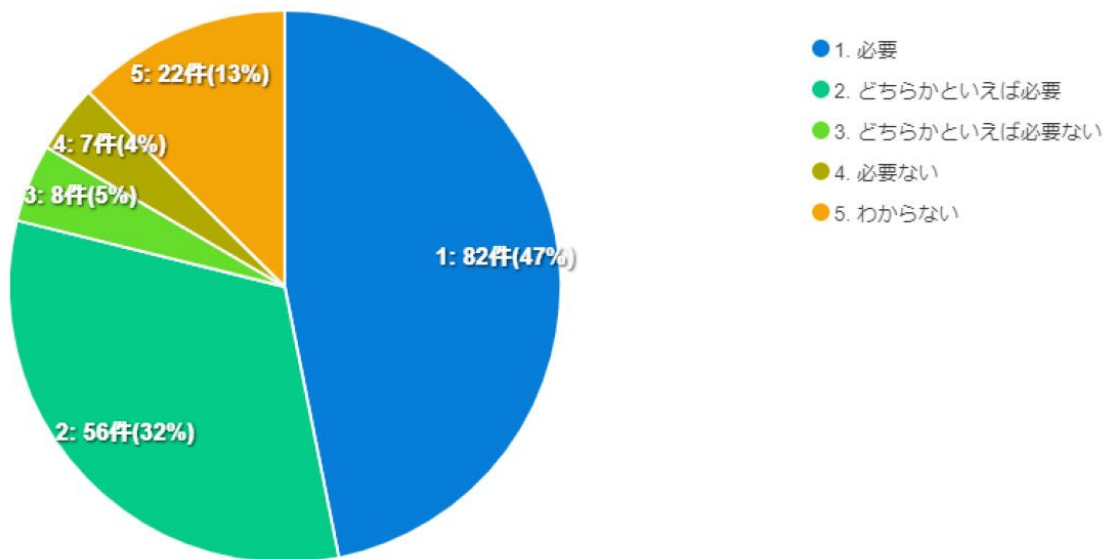
質問8. あなたは市が所有する犬猫収容施設に、どのような機能・設備が必要だと思いますか。

質問8-1. 犬猫の譲渡に関する機能

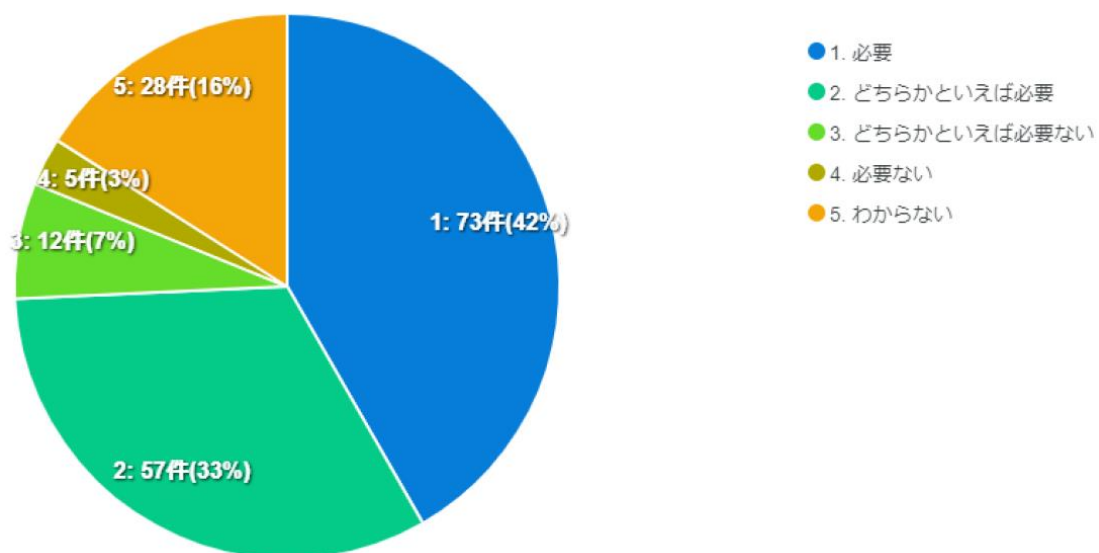
(1) 収容された犬猫を譲渡可能にするための治療や検査を行う設備



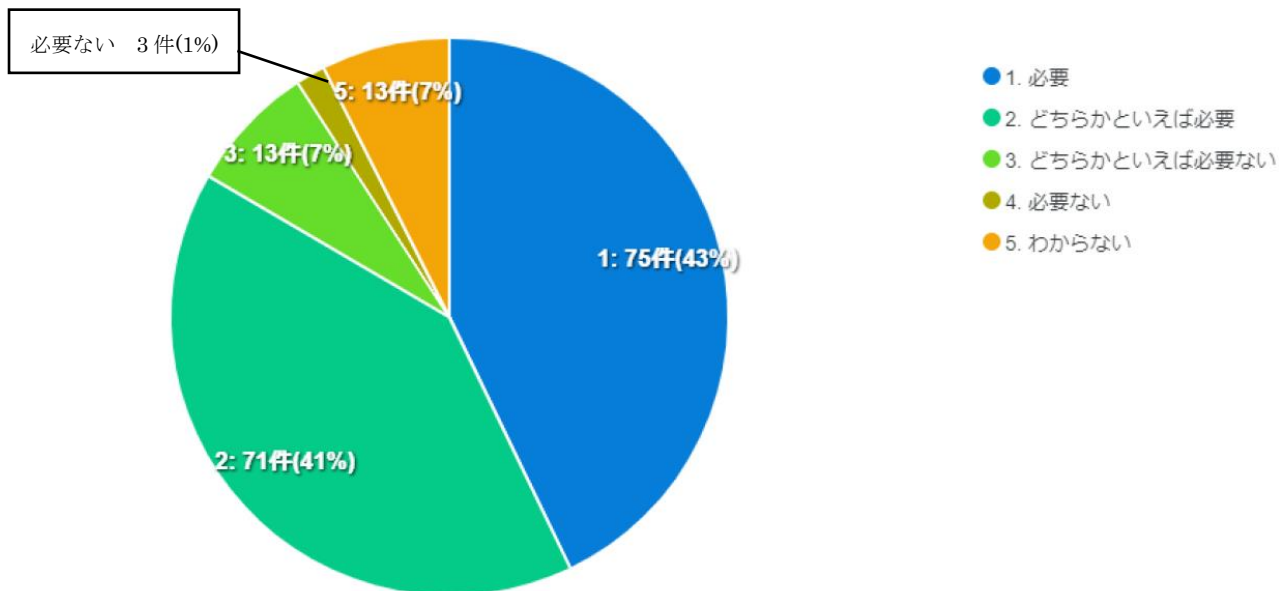
(2) 譲渡対象の犬猫に避妊去勢手術を行う設備



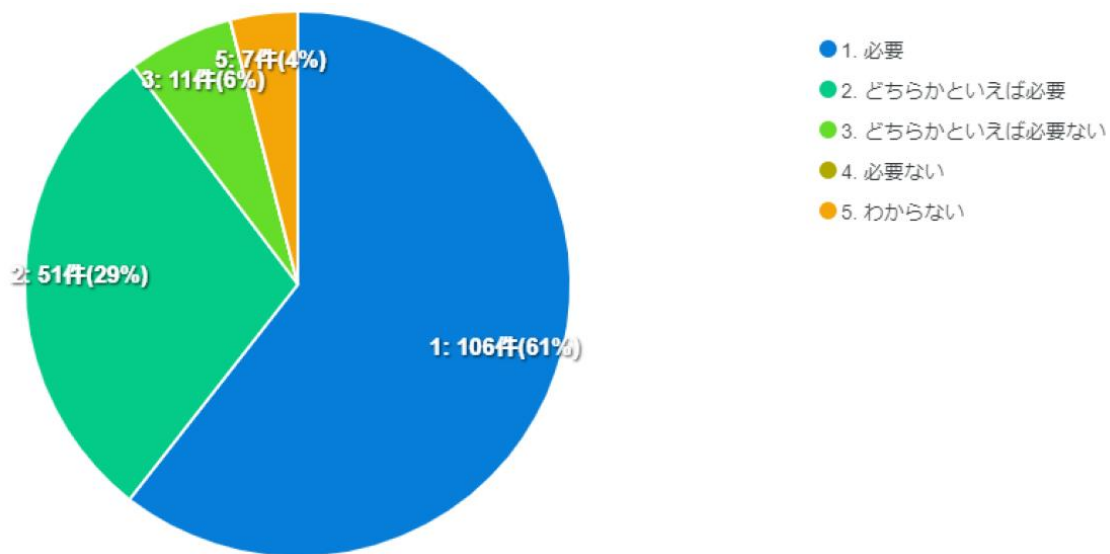
(3) 譲渡対象の犬猫を収容するスペースの拡張



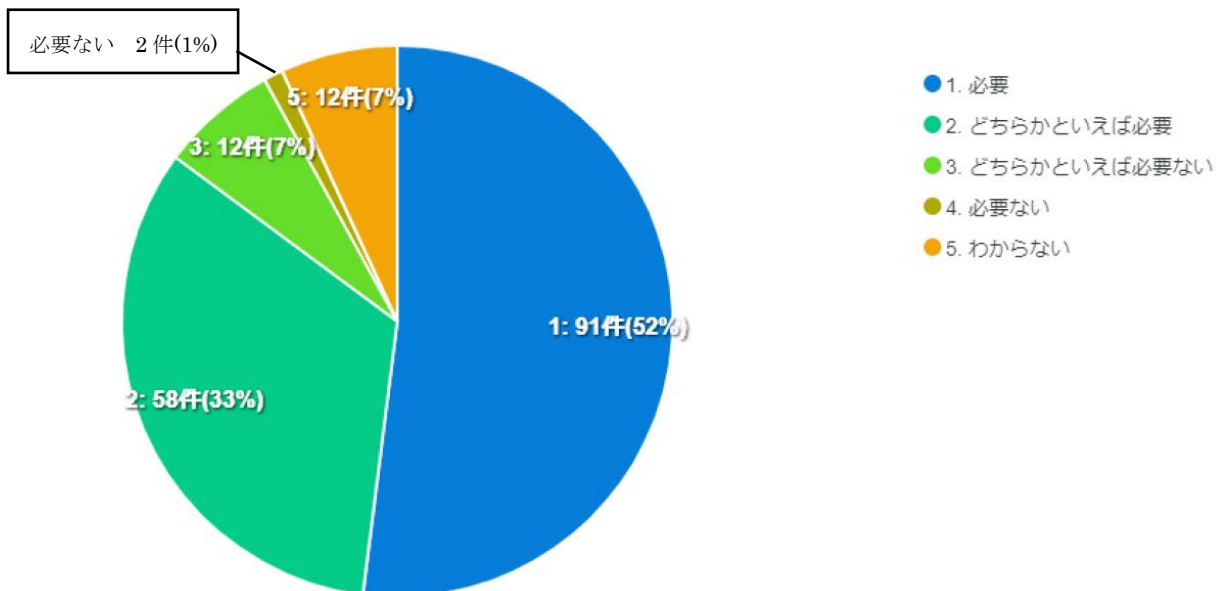
(4) 譲渡のためのしつけや人に慣れさせるための機能



(5) 譲渡対象の犬猫の情報を発信する機能（ホームページやSNS等）

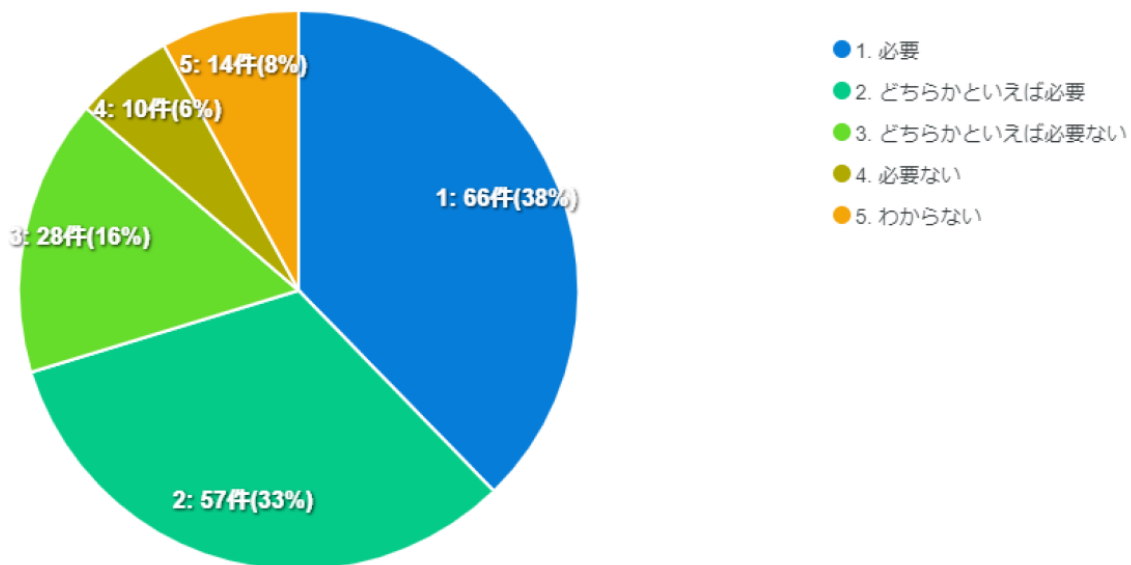


(6) 飼い主自身が新しい飼い主を探すための機能

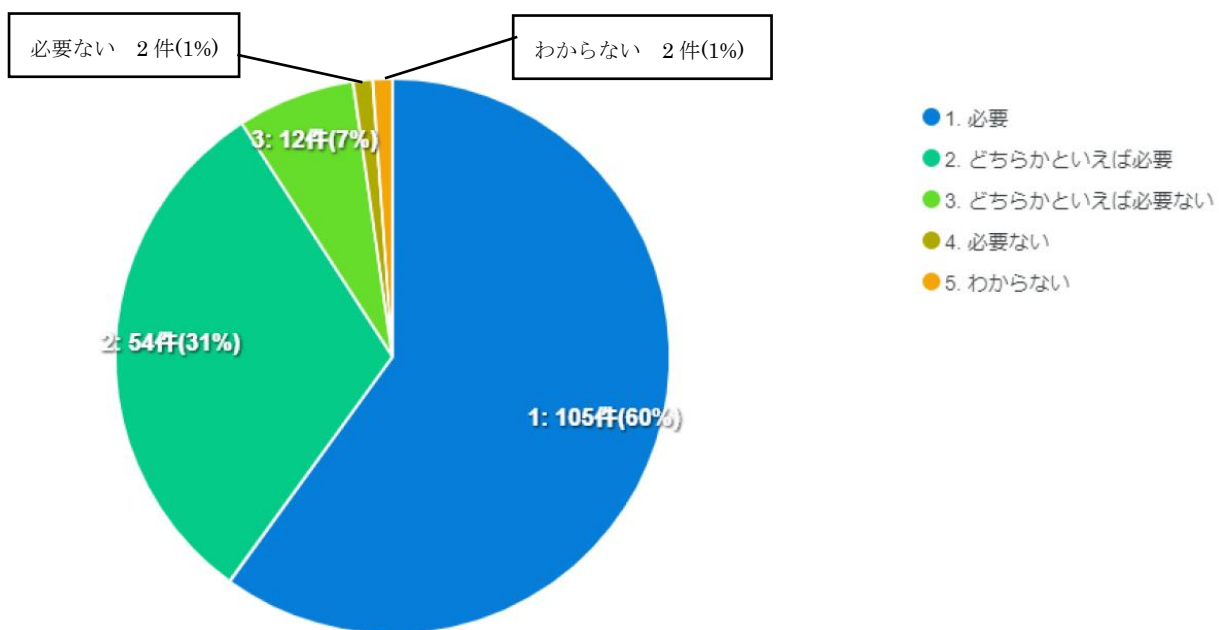


## 質問 8 - 2. 市民が参加できる機能

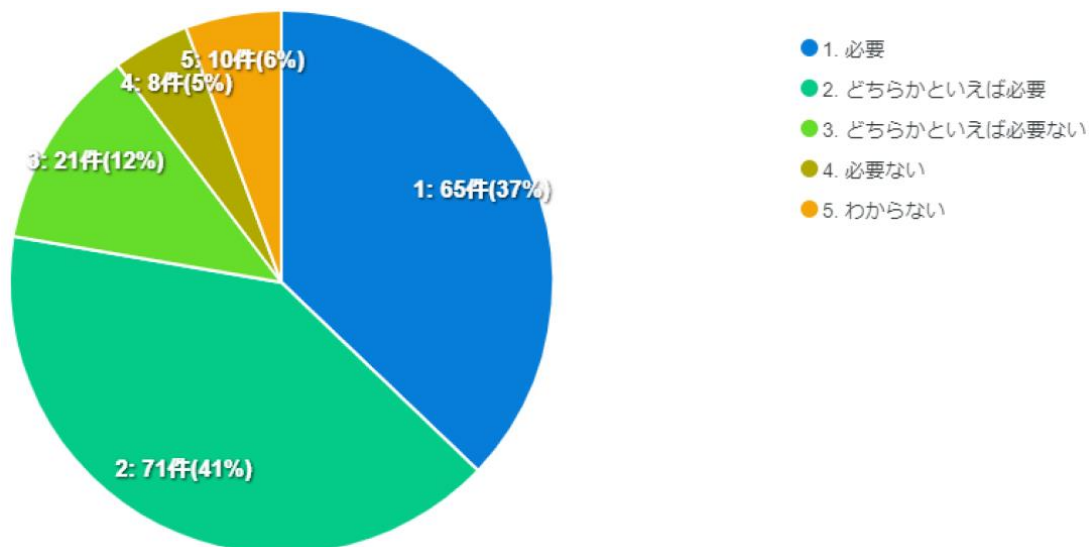
### (1) 人慣れしている犬や猫とのふれあい体験



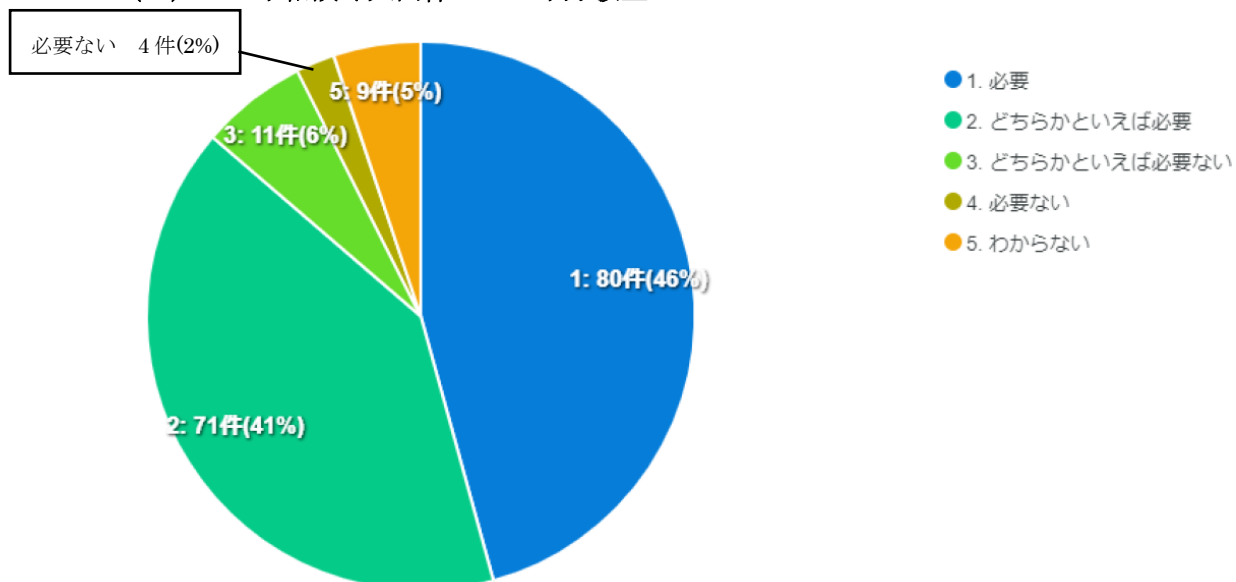
### (2) 子ども達にいのちの大切さを伝える教育の場 (社会見学や体験学習等)



(3) 動物愛護教室や動物愛護フェスティバル等イベントの開催

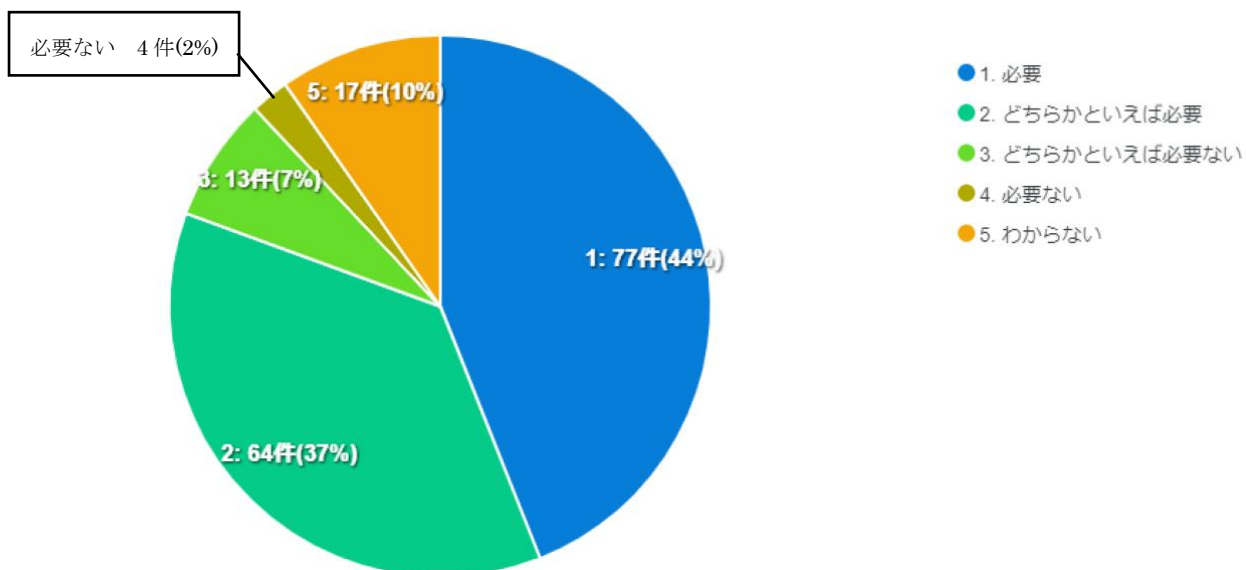


(4) しつけ相談や犬同伴のしつけ方教室

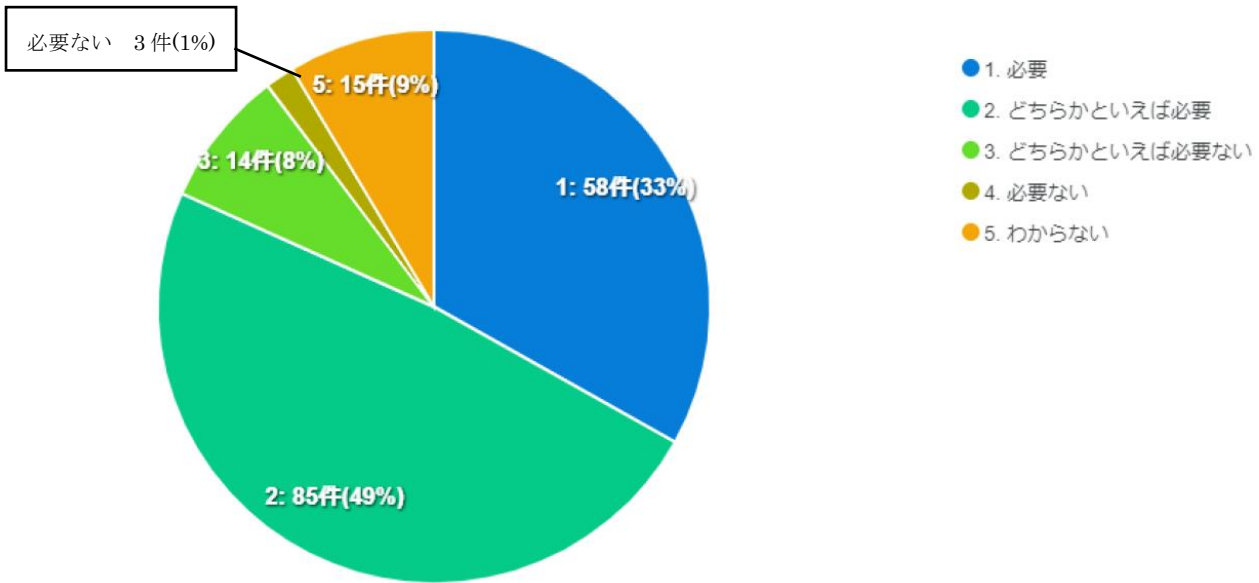


質問 8 - 3. 市民活動を支援する機能

(1) 地域猫活動を推進するための猫の避妊去勢手術を行う設備

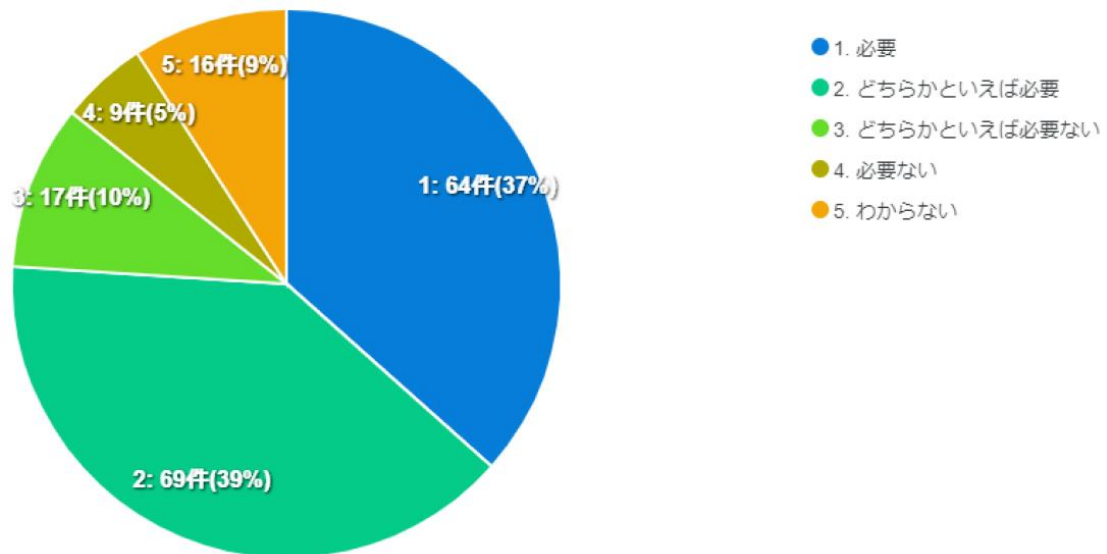


(2) 動物愛護に関するボランティア等の活動支援の機能（ボランティア活動周知イベントやボランティア育成等）



質問 8 - 4 災害対策

(1) 災害時の被災動物救援の拠点となる機能（被災動物救援所の設置等）



**質問 8. その他市の所有する犬猫収容施設に必要なと思う機能・設備がありましたらお書きください。(一部要約抜粋)**

■このような場所があるということをもっと広く市民に知ってもらった方がいいと思う。知っている人が増えることがまず必要ではないかと思う。

■市民への積極的な PR 活動、YouTube などでのライブ配信

■施設を見学したことがなく、わかりません。

■犬猫収容施設に入った経緯が分かるようにすると、その犬猫たちとどう向き合うのか考えるきっかけになると思います。

■現在の畜犬管理センターは老朽化が相当進んでいます。ぜひとも建て直し(ただ、あの場所では制約がありすぎるとは思いますが…)、移転・改築をお願いしたいです。

■衛生管理や、収容能力を大きくする

■収容するだけでなく、警戒心をやわらげ新しい生活に慣れることのできる設備や譲渡のために行く場所にせず、犬猫を飼育する飼い主を含め公に開かれた施設になるといい(施設内にドックラン等)

■獣医の診療

■収容施設は引き取り、保護、譲渡会を中心として避妊や検査等は医療機関の紹介に留めるのが良いかと

■殺処分できる施設および、行った動物のお墓、

■ペットに関する相談窓口の充実

■一日お世話体験

■ペット避難所、災害時の引き受け施設

■犬猫掲示板などがあると交流が活発化しそう

■個人飼育の迷い犬猫・失踪犬猫の情報(失踪～発見完了迄)の一括情報発信があれば、不慮の殺処分や他者への誤譲渡が防げると思う

■飼育希望者が本当に最後まで飼えるかを見極める仕組み。

■殺処分というと聞こえが悪く、できることなら共存できる社会になったらと思います。子供の頃は犬は外で飼育するのが主流で、ペットショップで購入するのは例外的だった気がします。今は犬はペットショップで購入し、室内飼育が主流になっていると思います。どうしても、飼い主がいない犬や猫はペットと違う目線で見えてしまう世間になっている気がします。共存できる機能があったらと願います。

■アレルギーの多い子が多いので、隔離施設が大事です。

■ペット用品等の販売をして、少しでも設備資金にするとよい

■収容施設の機能・設備の拡充よりも飼い主に対する自己責任の徹底が必要だと思います。

**質問9.「岐阜市の動物愛護事業」について、自由にご意見をお書きください。(一部要約抜粋)**

■事業の充実を図ることで、社会問題と言われる内容に、市民が関心を持ち、一層の普及啓発に繋がっていくのではないかと思います。

■事業の実態を市民に知らせる方法・手段が少ないのではないかと思います。広報や市のHPなどもっと活用しないとダメだと思います。市民の誰もが見ている媒体を活用してほしいと思います。

■安易にペットを購入して世話ができなくなり、殺処分される頭数なども公開して、本当にペットがかえるか再考してもらうよう啓発してほしいです。

■「飼い主が自己の責任で育てる」(行政の出番は最小限)という理念を堅持すべきと考えます。

■動物の愛護は必要であると思いますが、市の事業よりも飼い主の自己責任の普及が大事です。

■ペットという、かなり個人的な事情のためにかなり税金を使っているようで驚きました。飼う人の責任、売る側の責任等をもっと重視すべきと思いました。

■動物愛護にかかわる費用は、やはり動物を飼おうとしている人が負担するべきだと強く思います。動物を飼うことに関する税金をしっかりと徴収し、飼い主の責任を果たせる社会にしてほしいと願います。

■ペットを飼いたいならまずはシェルターへ行き、里子となる犬や猫を探せばいいと思います。そうでなければペットを飼う資格がある人にだけ売れるように仕組みを変えてほしい。

■犬を飼いだしてから知った保護犬の事、たくさんの人にも知って欲しいです。触れ合う機会を設けたり広報とかで周知できたらいいと思います。

■ペットショップで買う猫や犬でなく、保護された猫や犬の飼い主を増やしたい

■殺処分がなくなるようにしてほしい。

■野良ネコに対しての餌付けや多頭飼い飼育崩壊など目に見えない問題に向き合うには、地域ぐるみの連絡網や市の動物ホットライン等どこかへ相談できる窓口の拡充があると良いかと思います。また、岐阜市の動物愛護事業でどのような取り組みをされているかをより分かりやすく発信していただけたらと思います。

■犬のフンを処理しないで、犬の散歩を毎日同じ道を平気で散歩する方をなんとかしたい。本当に動物を愛しているのか、問うてみたい!

■野良猫をよく見かけるので対策をお願いします。餌を与えている高齢者の方もよくみるので啓発活動をお願いします。

■野良猫のフン尿被害、人による餌やりに困っています。

■鳥のフンなどに困っているので、家への被害を減らす取り組みもしてほしい。

■いわゆる民間にある猫カフェのような施設を作って、穏やかに飼い猫や飼い犬を飼い主に選ばせる施設をエリアごとに複数造ってほしい。

■訓練済犬猫を連れて積極的にイベント等に参加したり、犬猫カフェ運営して触れ合える機会創出してはどうでしょうか

■以前は小学校にもウサギやニワトリなど動物がいましたが、今はそういった学校も少なくなっていると思います。病気など問題もあると思いますが、教育の一環で飼育を再び考えてもいいのではないかと考えます。

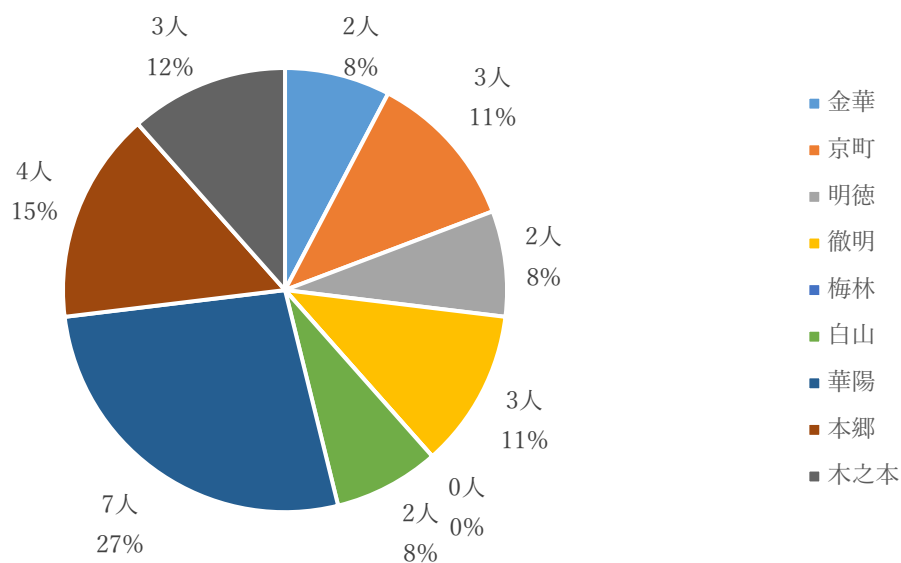
■犬を飼っていない方、犬が嫌いな方、マナーの悪い方に困っている方の気持ちも両方考えてバランスをみながら、ドッグランの利用時間や利用方法、新たな設置等、改善検討してほしい。



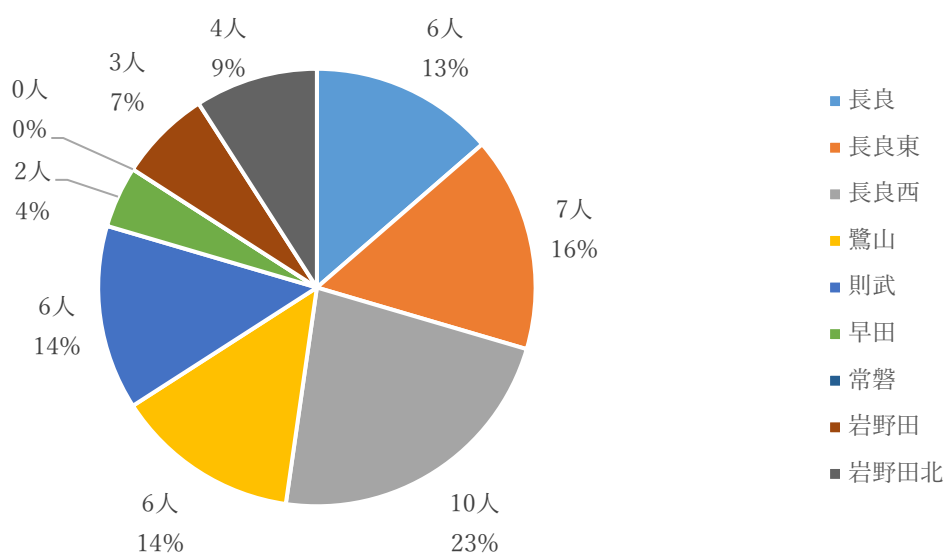
(2) ぎふベジに関する意識調査 (問 1~問 17)

質問 1.あなたのお住まいの地区 (実際に生活されている地区) はどちらですか。

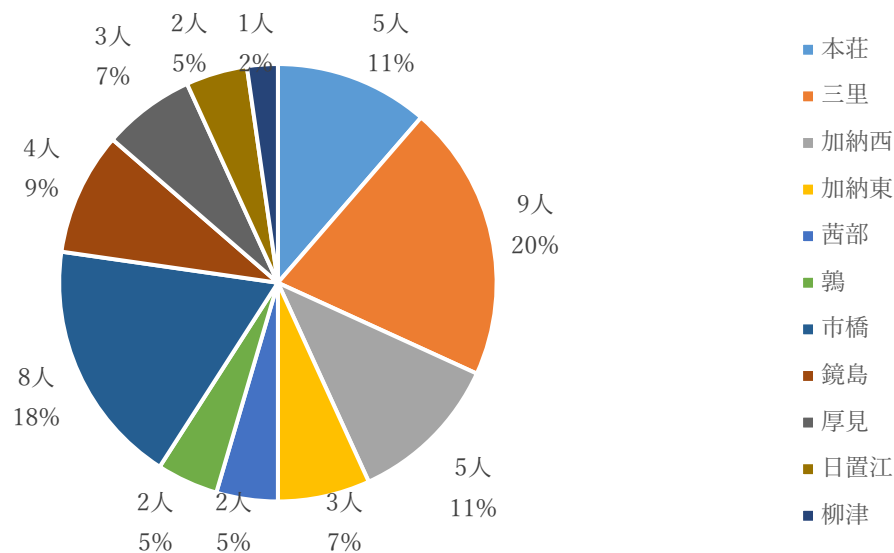
(1) 中心部



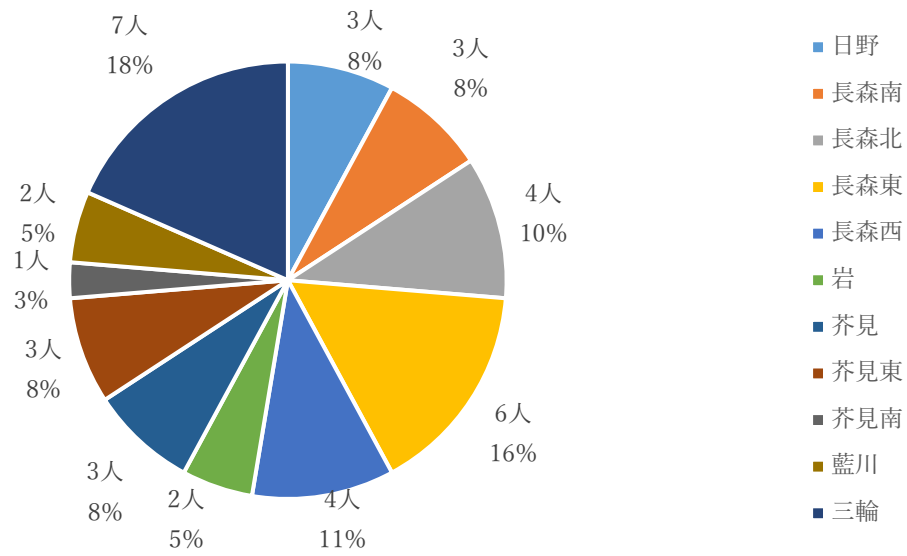
(2) 北部



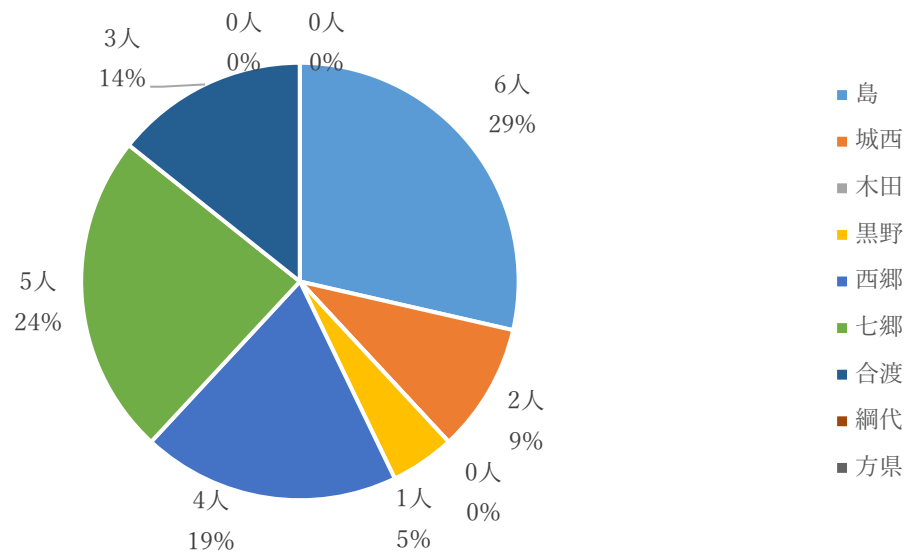
(3) 南部



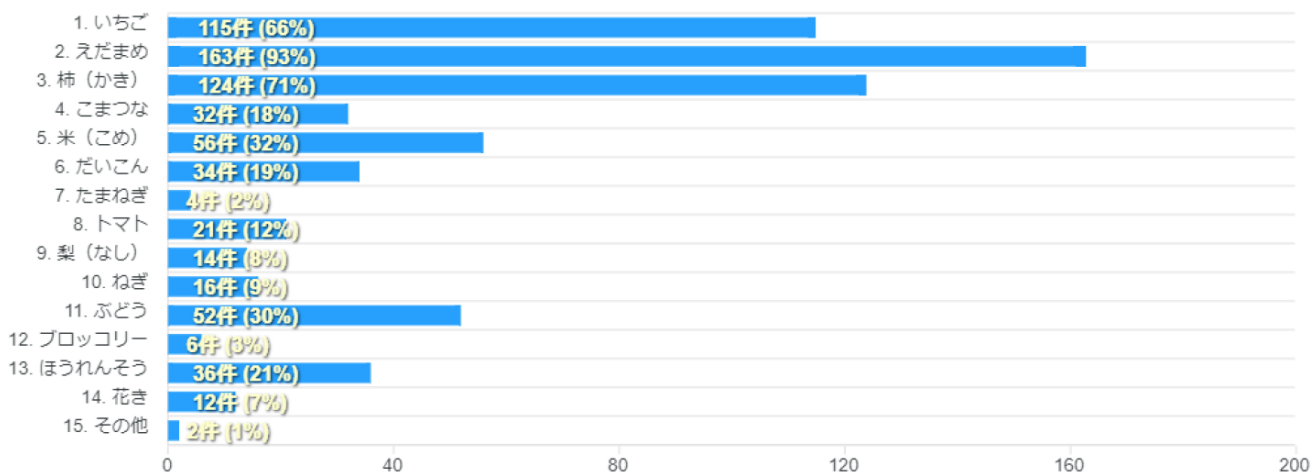
(4) 東部



(5) 西部



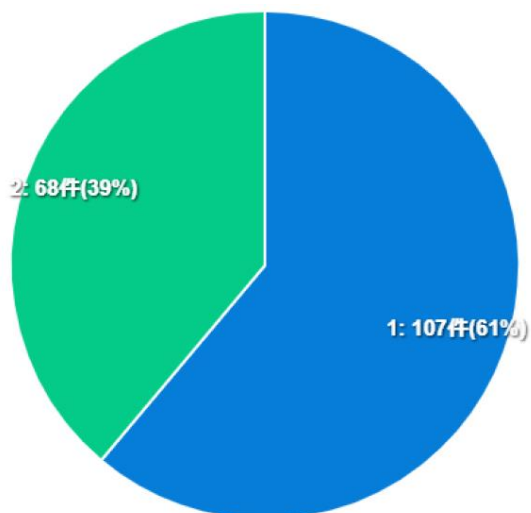
質問2.あなたの知っている岐阜市の特産農産物は何ですか。(複数回答可)



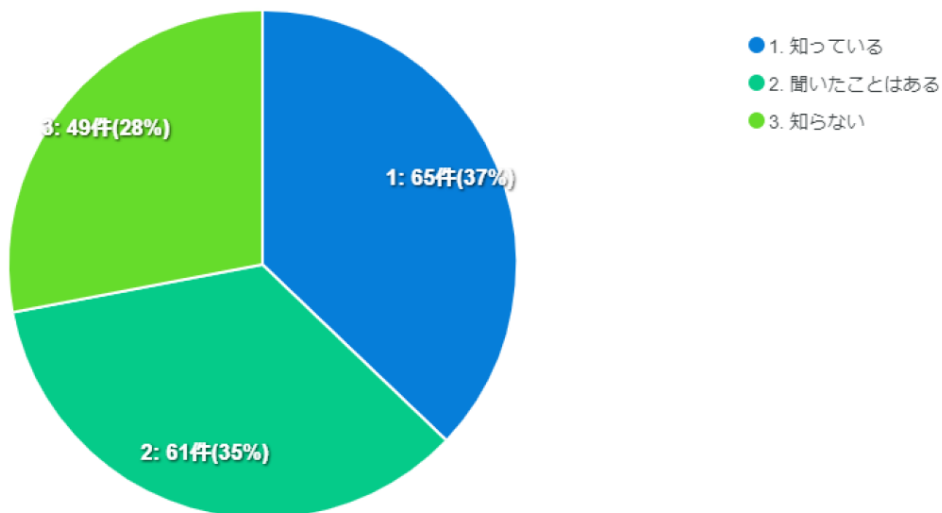
その他(一部抜粋)

■知らない

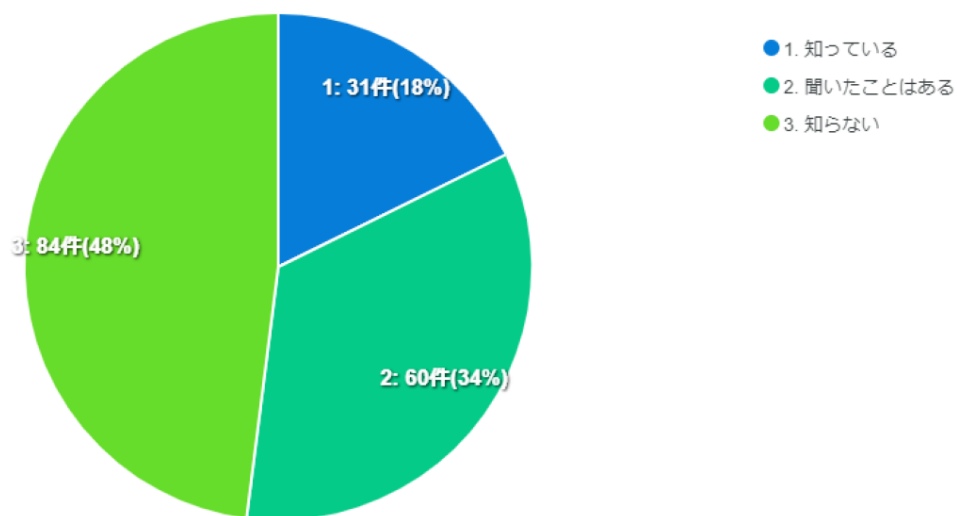
質問3.右のマークを見たことがありますか。



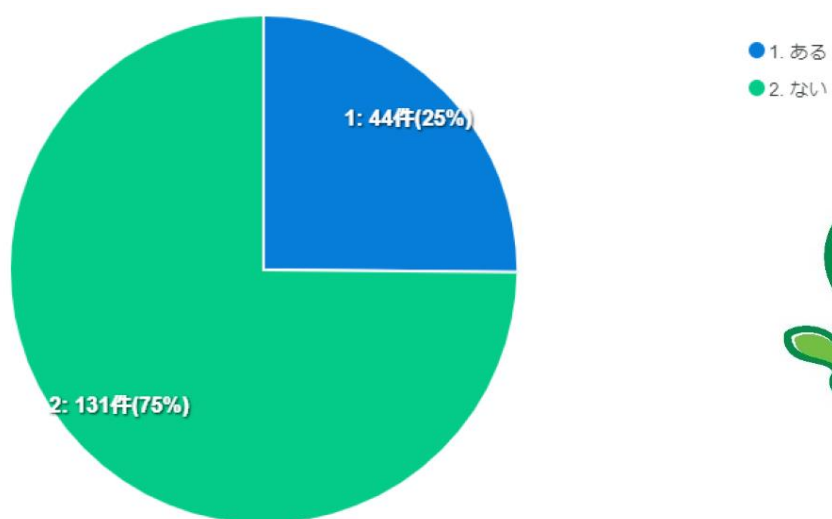
質問4.本市で特産農産物を愛称「ぎふベジ」としてブランド化を進めていることを知っていますか。



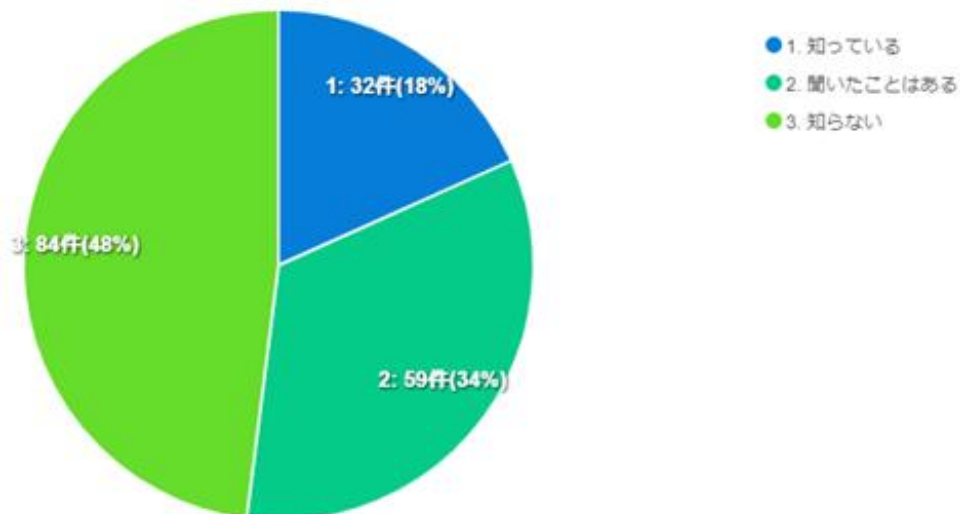
質問 5.令和 4 年 4 月から、岐阜市近郊の 5 市 3 町（岐阜市・羽島市・山県市・瑞穂市・本巣市・岐南町・笠松町・北方町）が連携して、域内の特産農産物を「ぎふベジ」としてブランド化を進めていることを知っていましたか。



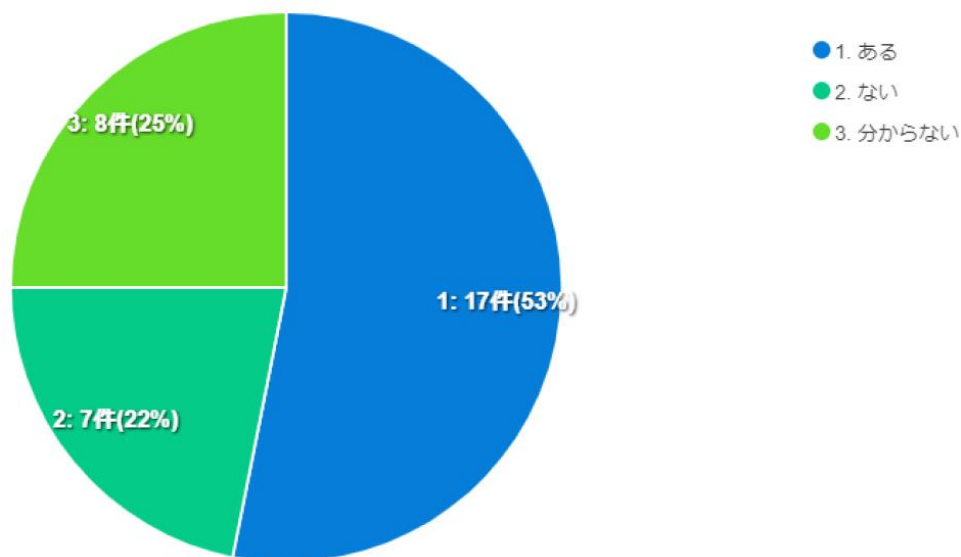
質問 6 .右のマークを見たことがありますか。



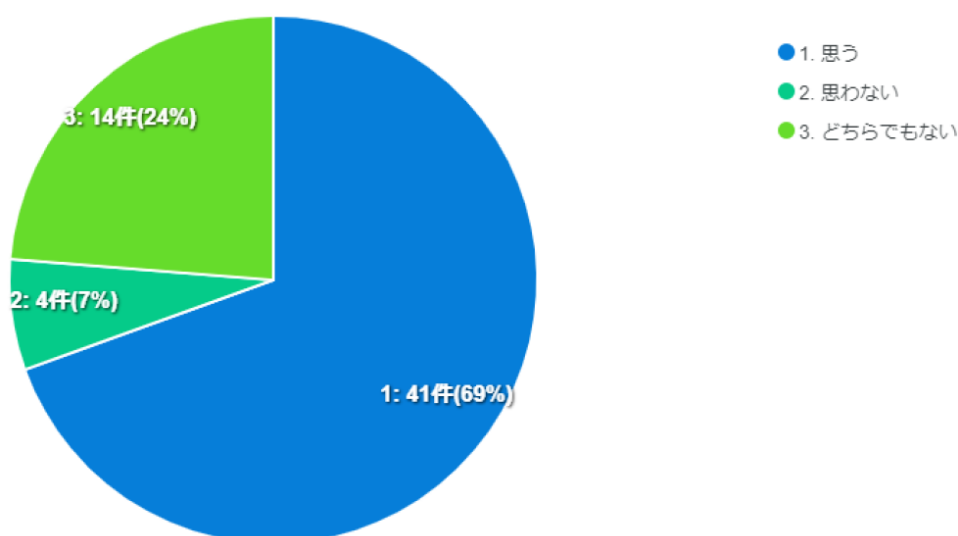
質問7.本市では近郊の5市3町（岐阜市・羽島市・山県市・瑞穂市・本巣市・岐南町・笠松町・北方町）が連携して、地元で生産された農産物などを積極的に取り扱う飲食店や販売店、食品加工所などをぎふ地産地消推進の店「ぎふ〜ど」として認定しています。そのことを知っていますか。



質問8.質問7で「知っている」を選択された方にお聞きします。ぎふ地産地消推進の店「ぎふ〜ど」を利用したことはありますか。

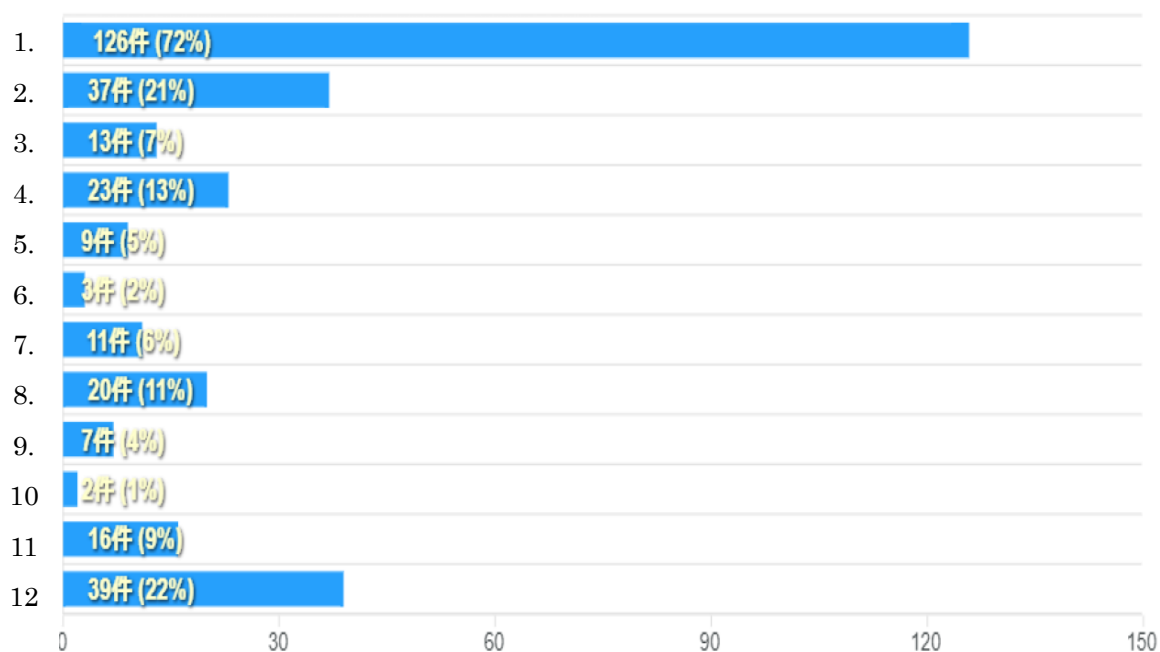


質問9.質問7で「聞いたことはある」を選択された方にお聞きします。ぎふ地産地消推進の店「ぎふ〜ど」を利用したいと思いますか。

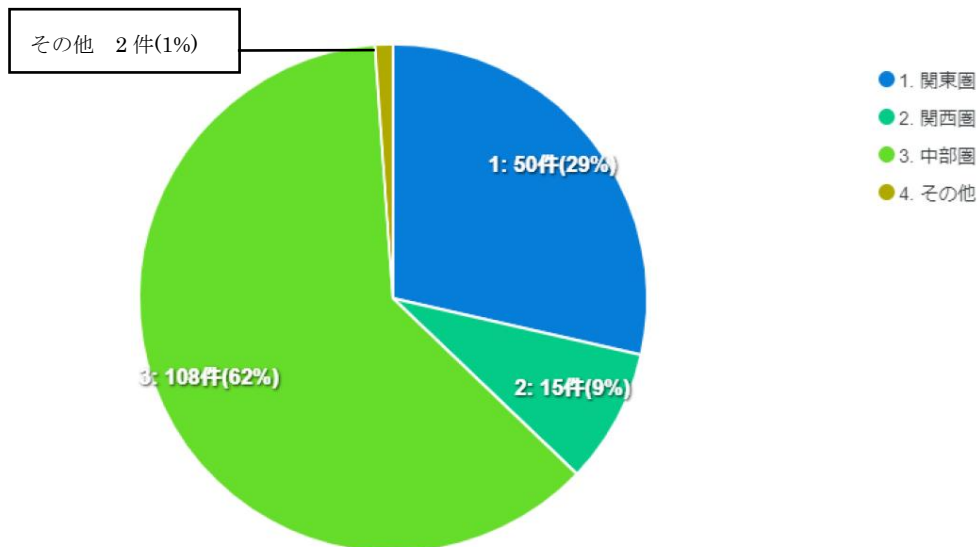


質問10.本市が進めている地産地消または「ぎふベジ」のブランド化で知っている取り組みはありますか。(複数回答可)

- 1.岐阜市農業まつり。
- 2.ぎふ地産地消推進の店「ぎふ〜ど」認定。
- 3.ぎふベジ公式WEBサイト。(https://gifuvege.jp/)
- 4.ぎふベジイメージガール。
- 5.ぎふベジBOOK。
- 6.ぎふベジ公式Facebook。
- 7.チャンネルCCN「ぎふわか」内番組コーナー「ちゃんちーとぎふベジおうちごはん」。
- 8.イトーヨーカ堂柳津店(カラフルタウン岐阜内)とのぎふベジ連携PRイベント。
- 9.ぎふベジ各種PRイベント。(上記以外)
- 10.ぎふベジTV。(PR動画をYouTubeで公開)
- 11.岐阜駅北口駅前広場におけるタペストリーの掲出。
- 12.知らない。



質問11-1.本市では、市外にも広く「ぎふベジ」を周知するため、地産外商イベントを開催しています。地産外商イベントの開催地として良いと思う場所はどこですか。



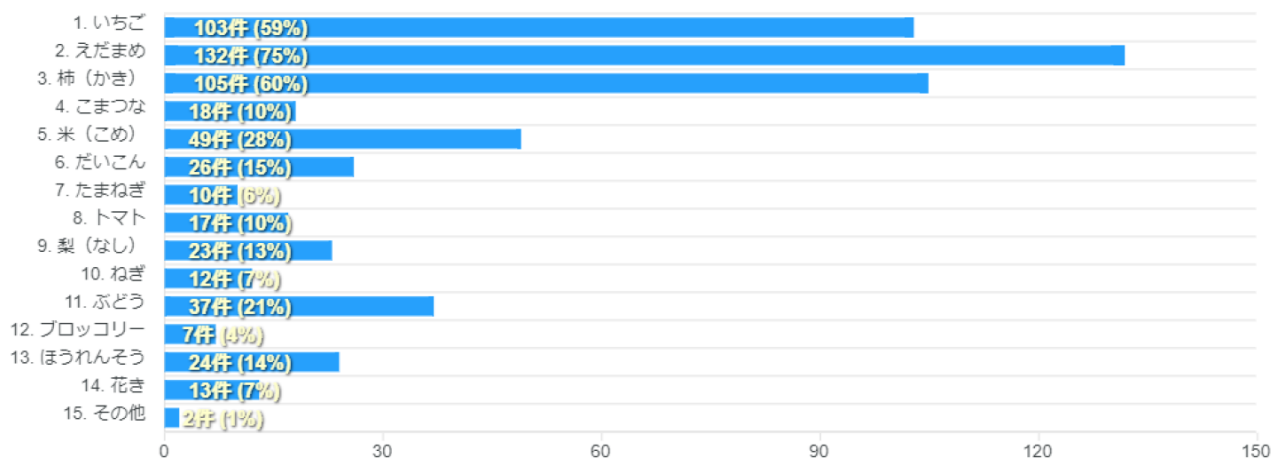
その他 (一部抜粋)

- 海外
- エリアを指定する必要はない。

質問11-2.質問11-1で回答した場所について、そう思う理由を教えてください。(一部抜粋)

- いきなり遠い地域に広めようとするより、近場からの方が周知されやすいと思った。
- CO2 排出量の少ない近県輸送範囲内でブランド化、認知、拡販がSDGs 的かと。
- 近いから鮮度を保てる。
- 関東の方が人口も多いし、ぎふベジのことを珍しいと感じてくれると思うから。
- 関東圏程遠くはない、中京圏だと近すぎて特別感がないと思う。

質問12-1.質問11-1で回答した場所で売り込むと良いと思う岐阜市の特産農産物は何ですか。(複数回答可)



その他 (一部抜粋)

- にんじん

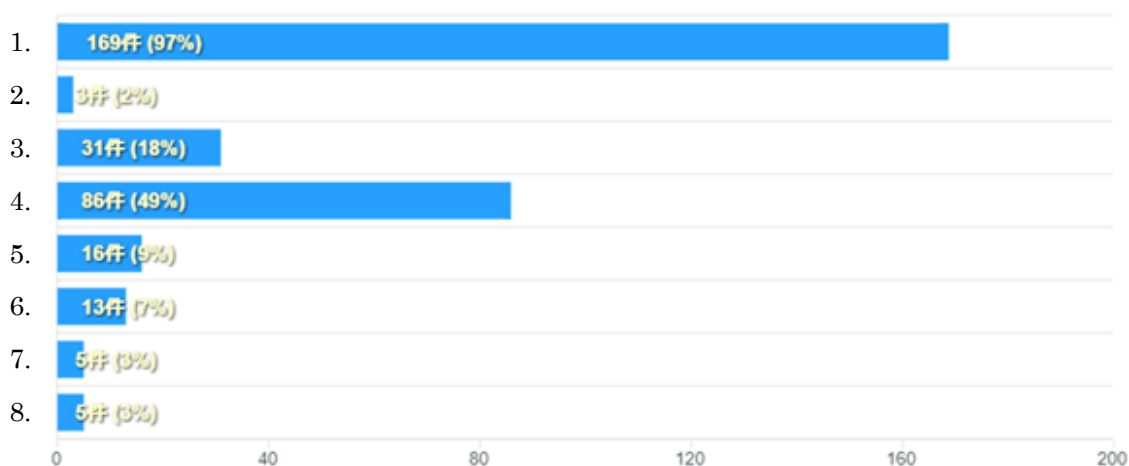
質問12-2.質問12-1で回答した特産農産物について、そう思う理由を教えてください。

〈一部抜粋〉

- 岐阜で採れた枝豆を食べて感動したから。
- 富有柿は頭一つ抜けた知名度があるので、そこを推しつつ他にも広げたい。
- えだまめや柿はお菓子(和菓子)にも使え、用途が幅広い。
- いちごはその場でも食べられ、枝豆はおつまみに、米は主食だから。
- 特定の品種やオリジナルブランドの名前があるものが多いと思う。

質問13.普段、農産物や食品をどちらで購入していますか。(複数回答可)

- 1.スーパーマーケット。
- 2.コンビニエンスストア。
- 3.ドラッグストア。
- 4.農産物直売所。(おんさい広場・おんさい朝市等)
- 5.農家庭先直売所
- 6.定期食材宅配サービス。(生協等)
- 7.注文時食材宅配サービス。(ネットスーパー、ネット通販等)
- 8.その他。

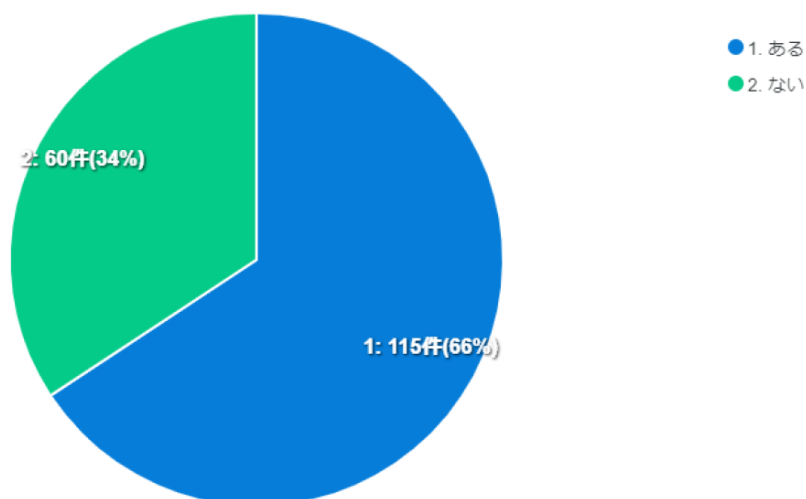


その他 〈一部抜粋〉

- 自分では購入しない。
- 自分で畑を借りて栽培している。無いときはスーパー。
- 百貨店

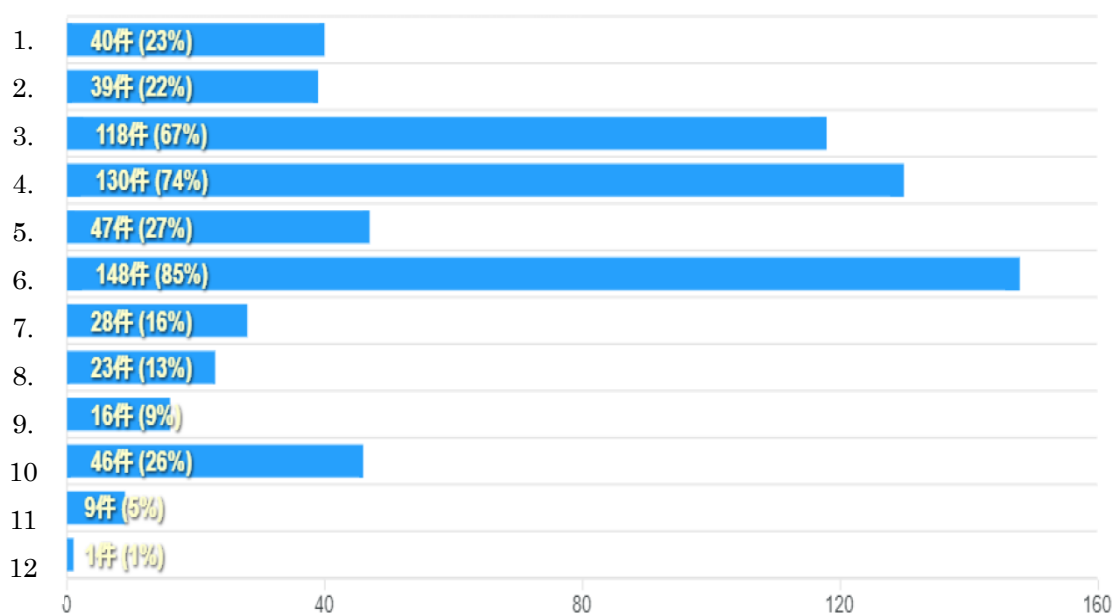


質問 1 4. 「ぎふベジ」(岐阜市近郊の 2 3 品目の特産農産物) を購入できる場所は近くにありま  
すか。



質問 1 5. 農産物を購入する際に、重視していることは何ですか。(複数回答可)

1. 市内産。
2. 域内産。(ぎふベジエリア)
3. 国産。
4. 鮮度。
5. 見た目。
6. 価格。
7. 無農薬。
8. 減農薬。
9. 有機野菜。
10. 量。(適正)
11. 生産者。
12. その他。

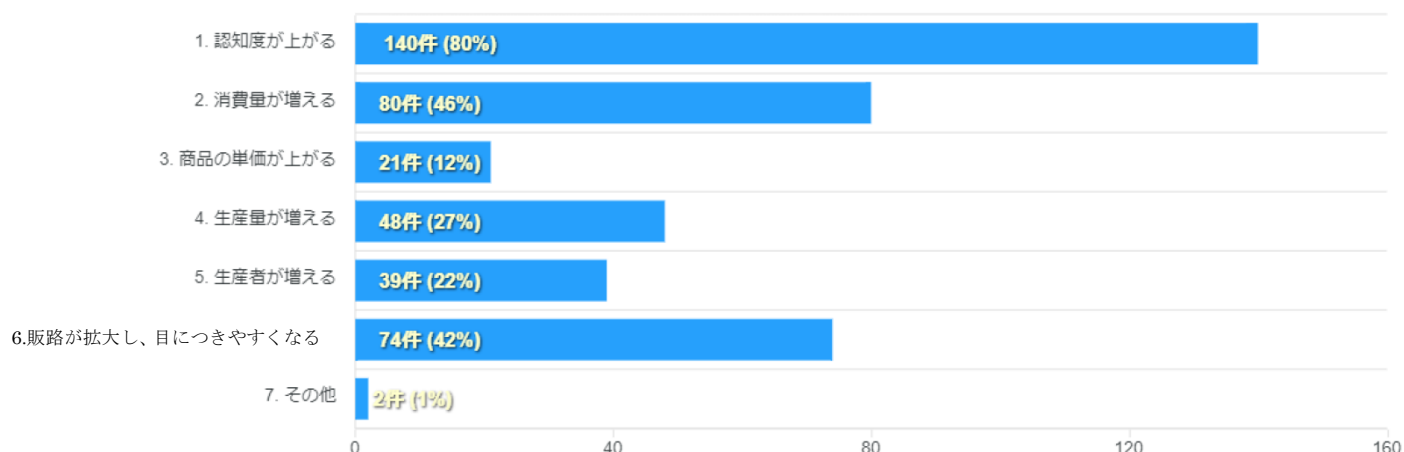


その他 (一部抜粋)

■味。

## 質問 1 6. 「ぎふベジ」のブランド化を進めるにあたって、何を重視すればいいと思いますか。

(複数回答可)



### その他 (一部抜粋)

- 他産地と比べて何が優れているのか、差別化ポイントを明確にする。
- 安く売る。

## 質問 1 7. 「ぎふベジ」や「ぎふへど」、地産地消に対する意見や要望など、ご自由にお書きください。(一部抜粋)

- まず地元の人に認知されること、そこから情報が広がるといいと思う。
- ぎふベジなんて知らなかった。とにかく店を限らず市内のスーパーマーケット全てに積極的に納入して消費者の目につくようにするのが最重要。
- 食べれば美味しいので、いかに手にとってもらうかを考える。
- 何となく地元で独りよがり認知度は低い。
- 地元の食材を子どもたちも身近に感じ、岐阜の強みとして紹介できるようになると素敵だと思う。
- 将来を担う子どもたちが、自分たちの育つ地域の名産品に触れる、食べられる環境やイベント、取り組みが必要と考える。それが、将来の農業人口、需要にもつながると思う。
- 小学校や幼稚園の給食にも広く取り入れるよう、販促すべきだと思う。
- 生産者の方々の応援(販路拡大や従事者の育成)や、特産農産物に対する認知度を高めていくと、更に地産地消への関心が高まっていくのではないかなと思う。
- 頑張っている生産者の見える化を一層促進させ、安心安全かつおいしいを強力に押し進めてほしい。
- ブランド化には賛成。一方で、ブランドの規格から少し外れているもののおいしい野菜たちの有効な流通手段があれば生産者も消費者も嬉しいのではないかなという気持ちもあります。
- 高齢化や土地の売却などで、年々岐阜の農家さんも減ってきていて、ぎふベジを作ってくれる方が少なくなっているのが、今後の地産地消問題に少し不安を感じる。若い方の認知度を上げて、若い方も畑を持ったりしていけるといい。
- これからは積極的に購入します。
- 他のブランドとの違いは何かを明確にすること、情報系のメディアに取り上げてもらうこと。
- 農作物ごとに、他の地域で作っている同農作物との違いを訴求したほうが良いと思います。
- 本当においしいもので値段が適切であれば、必ず売れると思います。
- 他府県産の物より安く購入できるのであれば消費量が増えると思う。

- もっとアピールが必要だと思います。話題造りで巻き込みながら広めていってほしいと思います。今は SNS の時代なので、発信方法ひとつで岐阜市産を全国へ広げることが出来ると思います。
- 今まで気にしたことがなかったので、もっと人々が気になるような広報をすると良い。物価高や円安の影響で、これからは海外に負けない安さと国産品や輸送費のかからない岐阜市産をもっとアピールしたほうが良い。
- 外国の野菜の方が運搬費などかかっているのに地元の野菜より安い。せつくなので地元の新鮮な野菜をお値打ちに買いたい
- 周りの地域と連携して非常に良い取組だと思います。
- 認知を増やして消費者も増やすとその後の岐阜市内での仕事の枠も増えるといいなと思います。
- 最近、他の地域でよく目にする、ふるさと納税の返礼品への利用促進などを、もう少し検討してみてもどうかと思います。
- スーパーであまりぎふベジを見ない気がする。地元産などと別コーナーを作って販売しているところもあるが、もう少し自然に、別の産地のものと同じような感じで販売してあるとよいと思う。
- 家族が少ないので少量でも販売してほしい。
- 地産地消のため SDGs にも貢献出来る事もアピールしてほしい。
- 高級すぎるものよりは手に取りやすい価格や商品開発が大切だと思う。若者の発信力やブームや流行にノッて盛り上げる力を上手に味方にできるといい。
- 地道な PR 活動をこれからも進めていてもらいたい。
- 地味なので、思い切ったアピールをしてほしい。
- 広報ぎふを毎号に近いくらい読んでいるが、見た記憶が無い。地元民が知らないのに他県民が知るわけが無いと思う。
- 食品ロスを防ぎたい。
- インパクトのある名前を付けて、手に取りやすくし、リピートし易くしたら良いと思う。

## 7 今後に向けて

### (1) 岐阜市の動物愛護事業に関する調査(問1～問9)

保健所生活衛生課では、「岐阜市市民と動物の共生社会の推進に関する基本方針」に基づき、動物愛護管理に関する施策を進めています。

その取組みとして、HP、広報ぎふを活用した意識啓発等を行ってきましたが、今回の調査では、動物愛護管理に関する市の施設や取り組み事業の周知が十分でないという結果が示され、その他意見等でも情報発信不足とのご意見が寄せられました。

今後は、SNSの活用等情報発信にも力を入れるとともに、多くのご要望がありました殺処分数削減や、動物の適正管理による生活環境改善への取組みに力を入れてまいります。

また、多くの方から、犬猫収容施設の機能・設備に必要な機能として「子ども達にいのちの大切さを伝える教育の場」という考え方をいただきました。保健所に収容された犬猫を身近に感じられる場所に子ども達の学び・体験の場を設け、飼い主になることの責任を学ぶことや社会の一員としての役割を子供たちに知って貰うことは、動物に関する問題を長期的に解決するうえで、必要なことと考えています。

今回の調査結果を踏まえ、「岐阜市市民と動物の共生社会の推進に関する基本方針」に明記される「総合的かつ計画的に動物の愛護及び管理に関する取り組みを推進するための拠点整備」と合わせて、動物愛護管理事業の充実に努めてまいります。

### (2) ぎふベジに関する意識調査(問1～問17)

今回の調査結果から、本市の農業振興を図っていく上で、ぎふベジのブランド化、販路拡大・開拓の取り組みが有効であり、平成27年から継続している「ぎふベジブランド発信事業」の取り組みをさらに充実させていくことが重要であると考えております。

本市近郊の5市3町(ぎふベジエリア)での連携やぎふ地産地消推進の店「ぎふ〜ど」事業との連携を図ることで、皆様に認知され、地域内で消費される地産地消の取り組みを推進するよう努めてまいります。

### お問い合わせ先

#### (1) 岐阜市の動物愛護事業に関する調査(問1～問9)

保健衛生部 生活衛生課 TEL : 058-252-7195/MAIL : s-eisei@city.gifu.gifu.jp

#### (2) ぎふベジに関する意識調査(問1～問17)

経済部 農林課 TEL : 058-214-2079/MAIL : nourin@city.gifu.gifu.jp